

泉丘SSHだより

第11号 H28.3.24

編集: SSH推進室

発行者: 新屋 長二郎

石川県立金沢泉丘高等学校



科学の甲子園 全国12位！



科学の甲子園

科学技術振興機構・IPより引用

対象: 理数科2年生代表者



代表メンバー

3月18日(金)～21日(月・祝)に茨城県つくば市で科学の甲子園全国大会が開催されました。本校からは理数科2年生の北一輝君、笛木怜君、松井晃太君、窪田知紘君、中村恭平君、原京也君、大河原明翔君、鹿渡稜太郎君が石川県代表として出場し、総合得点で全国12位を獲得しました！おめでとうございます!!

この大会では、理科、数学、情報等の知識を問われる筆記競技と、それらの科目についての実験、実習等の実技競技、さらに総合競技を行い、その総合得点で順位が決定します。参加した2年生は、大会までの間、放課後や休日等を使い何度も実験を行い試行錯誤を重ねて来ました。その練習の成果が発揮されたのではないのでしょうか。1年生の皆さんは、来年度またチャンスがあります。是非先輩方に続いてほしいと思います。



競技中の様子



会場で集合写真



エクスカーショ
(筑波山登山)

AIプロジェクト 校外発表会報告

様々な研究に触れるチャンス！

このような機会をどんどん利用しましょう！

近畿サイエンスデイ

対象: 理数科2年生「バイオプラスチック」班

3月5日(土)に、AIプロジェクトのバイオプラスチック班(源野由佳子さん、笹原寛佳さん、島田彩花さん、寺岸懂子さん、山本柚紀さん)が参加し、課題研究のポスター発表を行いました。

近畿サイエンスデイは近畿圏のSSH指定校が集合し、課題研究の発表を行うイベントです。会場は大阪うめきたナレッジセンターで、各校の代表班がそれぞれ研究してきた内容を発表しました。



バイオプラスチック班
※写真は過去のもので

第57回日本植物生理学会 年会特別企画「高校生生物研究発表会」

対象: 理数科2年生「ルミノール」班代表2名

3月19日(土)～20日(日)にかけて、岩手大学で開催された上記の発表会に、AIプロジェクトのルミノール班から井原崇斗君と尾西宏紀君が参加し、奨励賞をいただきました。

この発表会は北陸先端科学技術大学院大学の小田先生が紹介していただき、東北大学の渡辺先生がプロデュースしてくださったもので、主に植物や菌類に関わる研究発表が行われました。



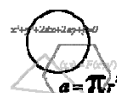
ルミノール班
※写真は過去のもので

コスモサイエンスⅠ 研究事例ポスター発表会

対象：理数科の1年生

3月4日（金）に、理数科1年生によるポスター発表会を開催しました。今回は2年生で行うAIプロジェクトを見越し、各分野の先行研究をリサーチしまとめるという趣旨でのポスター作成で、様々な分野から9つのテーマが選ばれました。

以下に各班の発表の様子を写真で紹介します。



ハニカム構造の強度の秘密



人工光合成による二酸化炭素の変換の研究



ベニクラゲと人間の健康



土砂災害被害の予想



果実の鮮度保持について



和音と倍音の関係について



ガウスの正十七角形の作図法



紫外線殺菌の効果



折り紙で方程式を解く

コスモサイエンスⅠ ディベート大会

対象：理数科1年生

3月23日（水）のコスモサイエンスⅠの時間を利用してディベート大会を開催しました。今回のテーマは「日本は宇宙開発費を増額すべきか、削減すべきか」です。

ディベートは宇宙開発推進派10名と他分野開発推進派10名、そして、各推進派とは別に医学・農学・化学・環境・工学分野の団体（各分野4名）が存在するという設定で行われました。今回のディベートのポイントは、各推進派のメンバーがそれぞれの団体のメンバーをいかに説得し、自分達の主張を支持してもらえるよう交渉するか、ということでした。

生徒達はそれぞれ根拠を示しながら活発に協議を行い、ディベート大会は多いに盛り上がりました。

生徒の感想より

- 2つの方面からの主張のぶつかり合いに冷静に自分の分野におけるメリットを汲み取って考える難しさを知った。
- 思っていたより難しかった。自分が取り込めると思っていた分野がとても苦勞し最後まで苦戦した。また、情報の量とその正確さの重要さが身にしみて感じられた。



宇宙開発推進派の立論



他分野開発推進派の立論



各分野との協議の様子

《保護者の皆様へ》今年度のSSH事業も無事に全てを終えることができました。1年間ご協力いただきありがとうございました。来年度も、海外研修をはじめ多くの事業を予定しています。新しい試みも随時取り入れていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

